世界ガールズ・レポート2024

それでも私たちは夢をみる

紛争下で生きる女の子とユース



モザンビークの紛争で避難生活を送る、妊娠中の14歳の女の子
© Plan International

PLAN INTERNATIONAL
Until we are all equal

要約

2024年の「世界ガールズ・レポート」は、生活が紛争に支配されているユースの経験に焦点を当てている。私たちは、紛争によって引き起こされる暴力、教育の中断、生計手段の喪失、精神的苦痛といった経験が、女の子とユース女性、男の子とユース男性の間でどう異なるのか、そしてそれが将来の生活にどう影響するのかを理解したいと考えた。その違いが、人道支援団体、政府、政策立案者、コミュニティ、そしてユース自身にどのような意味を持つのだろうか。さらに、その知見を実際の活動に反映させるには、何が必要だろうか。

本調査は、カメルーン、コロンビア、エチオピア、レバノン、モザンビーク、ナイジェリア、スーダン、ウクライナ、フィリピン、および政治的・運営上の機微により国名を公表できない10ヵ国から9,995人の参加者を対象に大規模な調査を実施した。更にエチオピア、カメルーン、コロンビア、フィリピンから104人が詳細なインタビューに参加した。武力紛争はすべての人に影響を及ぼすが、その影響は人によって異なる。本報告書では、紛争のジェンダー的側面について考察し、特に紛争時や平和で豊かな時代において見過ごされがちな女の子とユース女性のニーズと権利に焦点を当てる。

「紛争の影響については、男性も女性も平等に影響を受けたと言えますが、女性はレイプされるという点で深刻です。男の子も紛争の影響をかなり受けました。多くの男の子が殺され、紛争後も行方不明のままの子もいます。ですから、誰もが異なる形で紛争の影響を受けたと言えます」

Addodas、19歳、エチオピア

調査結果の詳細については、以下のサイトにアクセス: plan-international.org/still-we-dream

2024年、約3億人が人道支援を必要としている*。

紛争は、人道支援を実施する主な要因の一つだ。一般市民、特に子どもやユースは、壊滅的な影響を受けている。彼らは徴兵され、誘拐され、学校や病院で襲撃され、性暴力を受け、人道支援を享受できない。私たちの調査が示すように、このような壊滅的な状況下で、女の子と男の子、ユース女性とユース男性により、紛争の経験が異なることが、今回の調査と詳細なインタビューの両方から明らかにされた。この違いが本報告書の主な焦点となっている。

> **「私たちが活動できるように、食料、住居、安全対策を提供し、健常者と障害者のための学習プログラムを用意して、私たちが皆忙しくしていられるようにしてください」**
>
> Ikome、16歳、カメルーン



配給用食料キットを準備する様子、レバノン
© Plan International

本調査から明らかにされたのは、効果的な支援を行うためには、紛争ごとに異なる背景やアイデンティティによって、それぞれの経験は多種多様であると認識する重要性だ。恐怖は共通の話題であり、生活必需品をめぐる困難も同様であるが、女の子とユース女性は、非常に高いレベルの精神的ストレスを訴えている。彼女たちは性的暴行を受け、家事や妊娠により、行動の自由が更に制限されている。男の子とユース男性は戦闘に駆り出され、多くが命を落とし、一家の大黒柱や守り手としての責任を感じている。質的インタビューでは、インタビュー回答者の多くが、誰であっても、どこであっても、常に残忍な行為やトラウマを抱えたり目撃したりしていることが示されている。生活は破壊され、コミュニティや家族は崩壊した。調査と詳細なインタビューの両方から、紛争の経験には明確なジェンダー的違いが認められてはいるものの、皆が一様に苦しんでいることが明らかになった。


エチオピアの過密な避難キャンプで暮らす母親と2人の子ども © Plan International

> **「銃撃が絶え間なく続いていたので、私たちは急いで早めに家に帰りました。とても怖かったのです。避難する際、私たちを助けてくれる車は一切なく、水牛と即席の荷車しかありませんでした。ヘリコプターが落とした爆弾が爆発し、とても怖かったです。私たちは持ち物を置いて逃げました…」**
>
> Amira、24歳、フィリピン

* 国連人道問題調整事務所 (OCHA) の Global Humanitarian Overview 2024: 2023年12月発行

主な調査結果



ユースは、睡眠障害(55%±)や慢性的な不安(54%)など、高いレベルの精神的苦痛を訴えており、
女の子とユース女性は、これらの精神的ストレスの度合いが、男の子とユース男性と比べて有意°に高い。



調査では、**女の子とユース女性の27%**が、**「性とジェンダーに基づく暴力**が日常で常に存在するリスクである」と報告し、インタビューに応じた女の子とユース女性も同様であった。

特にエチオピアのインタビュー回答者は、女の子とユース女性に対する残虐な性暴力を目撃・経験しており、**「メンタルケアを含む安全と支援が緊急に必要である」**と強調した。レイプによって妊娠した女の子とユース女性は、「自宅に戻れば差別的な扱いを受ける」と報告している。

38%の回答者が、「危ない」、または「非常に危ない」と感じていると報告し、
女の子とユース女性(39%)は、男の子とユース男性(36%)に比べて、より危険を感じていた。



調査回答者の半数超が、紛争が原因で**教育を受けることができなかった。**
その割合は、男の子とユース男性(53%)が女の子とユース女性(52%)をわずかに上回っている。



男の子とユース男性は、武装集団から女の子とユース女性よりも**勧誘の対象とされており、**その割合は22%対14%である。17歳以下の調査回答者の約17%が、武装集団への所属・支援を求められた経験がある。



45%超の回答者が食料摂取量の減少を報告しており、
女の子とユース女性は47%、男の子とユース男性は44%だった。また、女の子とユース女性は「食料援助へのアクセスが極めて困難」と報告している。59%の回答者は電気へのアクセスが限られている、または全くなく、41%は水へのアクセスが限られている、または全くない。



63%の回答者は、自身の性自認に拘わらず、**自国の紛争により生計が何らかの影響を受けた。**
調査全体を通して、財政支援と経済再建への支援が重要な優先事項として浮上した。



65%のユースが**和平協議**と、その協議に彼ら自身も参加することを**望んでいる。**
女の子の方が男の子よりもユースの参加に支持を示し、ユース女性の45%がユースの参加を支持し、39%が特に女の子とユース女性の参加を望んでいる。

± 割合は、小数点以下を切り捨てて、最も近い整数に修正されている。中間点は維持されている。
° 本報告書では、「有意」という用語は統計的な意味で使用されている:偶然に起因しない結果。

調査結果の詳細については、以下のサイトにアクセス: plan-international.org/still-we-dream

行動への呼びかけ

社会が紛争から立ち直り、ユースが紛争を生き抜く中で、彼らは多くを提供できるようになる。

ユースが直面する複雑な課題を乗り越えていくために、彼らの声に耳を傾けることが重要だ。

ユースは皆、経済的・教育的な支援を必要とし、生活必需品だけでなく、特に紛争中・紛争後の性と生殖に関する健康と権利、心理社会的支援に関して、彼らの状況に合わせたサービスへのアクセスも必要としている。

紛争は一世代全体を蝕む可能性があるが、ユースが適切に支援されれば、この世代の経験とエネルギーがコミュニティの存続と再建の一助になる。



「質の高い教育、手厚い支援、そして何より心理的保護を彼らに提供してください」

Martha、22歳、コロンビア

「ユースは未来を築く存在であり、和平交渉に関与すべきです」

Akungha、24歳、カメルーン

絶望的な現状にもかかわらず、未来への希望はまだ残っており、調査に参加したユースは、紛争を生き延び、その後に再建する方法について多くのアイデアを持っている。

女の子とユースは、紛争の全ての当事者、すなわち、各国政府、人道支援機関、ドナーが協力し、以下を達成することを求める。

- **即時停戦を実施し**、女の子とユースの声や具体的なニーズを反映させる形で、恒久的な平和を目的とした**有意義な和平交渉を開始すること**。
- **紛争下の子どもに対する重大な侵害行為を全て止め、糾弾すること**。これには、軍隊や武装集団による徴用や利用、殺傷、性暴力、学校や病院への襲撃、誘拐、人道支援へのアクセス遮断などが含まれる。
- **子どもやユースへの安全で包摂的な教育を支援すること**。これには、平和教育、安全な学校宣言の実施のための資金援助、代替的な学習アプローチなどが含まれる。
- **人道支援に重点を置き**、女の子、男の子、ユースが平等に食料、水、避難所を利用できるようにし、女の子やユース女性対象のものも含め、暴力のサバイバーのためのサービスを優先すること。
- **地域経済を支え**、女の子、男の子、ユースの各々のニーズを認識した上で、**雇用機会を提供**し、彼らが各々のニーズに合った選択ができるようにすること。

調査結果の詳細については、以下のサイトにアクセス: plan-international.org/still-we-dream